

心理学・教育学委員会 脳と意識分科会 第24期・第6回 議事要旨

日時：平成31年4月25日（木）16時30分～18時30分

会場：日本学術会議5-C(2) 会議室

出席者：苧阪直行委員長、坂田省吾幹事、今水寛、大平英樹、苧阪満里子、川畑秀明、仁平義明、松井三枝、渡辺茂、渡邊正孝（10名）

配付資料：第24期・第5回議事要旨（案）、マスタープラン2020

議題

- (1) 前回議事要旨の確認
第5回分科会の議事要旨を確認した。
- (2) マスタープランの提出について
配付資料に基づきマスタープラン2020を概要図と共に提出したことを確認した。
- (3) 今水寛委員の研究紹介
運動主体感の成立に関わる脳のネットワークをテーマとして、自己条件と他者条件の比較から脳機能画像研究からわかってきたことの紹介があった。脳活動から自己帰属を予測する内容であった。参加した各委員からは多くの熱心な質問が出て、活発な討論が行われた。
- (4) 今後の開催日程の調整と開催法について
日本心理学会第83回大会でシンポジウムを開催することについて議論した。
次回は10月18日（金）、25日（金）、11月1日（金）午後開催の何れかで日程調整をすることとした。なお、次回は山口先生に研究紹介をお願いすることとした。
- (5) マスタープランの今後について
マスタープラン2020のヒアリング日程は9月14日（土）から16日（月）である。
- (6) 昨年10月に京都大学で開催された日本学術会議近畿地区講演会「社会脳から心を探る」の内容を学術会議叢書として発行することについてこれを承認した。